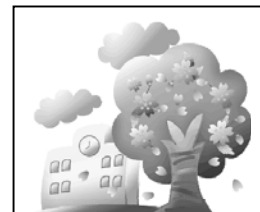


2008年 春号

# ぷらう 38号



発行：TEACCH プログラム研究会

## ～巻頭の言葉～ 思考過程を意識しよう

TEACCHプログラム研究会会長 内山 登紀夫  
(よこはま発達クリニック)

TEACCH プログラム研究会の役割は日本の自閉症支援の質を高めることにある。単に「TEACCH では」、「ノースカロライナではこうやっています」と紹介することが主目的ではない。前回支部と本部の役割について書いたが、本部の役割の一つとして第一回の TEACCH コラボレーションセミナーを実施した。これについては他に紹介があるので詳述しないが、TEACCH 部のスタッフとの相互的な協力、互いに学び合う姿勢を鮮明にしたことに大きな意味があったと思う。

TEACCH 部のスタッフと直接議論しあうと、彼らが自閉症に対する深い理解と経験、そして理念にもとづいて自分たちのミッションを実現するために日々努力していることを実感する。そして、彼らがとても柔軟で色々な新しいことにオープンな関心を持ち謙虚であることに心を打たれる。

今回のセミナーのテーマは学校支援だったが、コンサルテーションを受ける側の教師の心理にもきめ細かく配慮している点が印象に残った。高みから教えるという姿勢はみじんもなく、互いの立場を認めあって子どもにとって一番良い方法を教師と一緒に探ろうとする姿勢を改めて認識した。

TEACCH に対する関心は日本の自閉症支援に関係する人たちのなかで以前にも増して高まっている。批判されるにしても賞賛されるにしても注目の対象になっているのは確かなように思う。TEACCH は宗教ではないので盲信する必要もむやみに有り難がることもない。むしろ盲信しないこと、むやみに有り難がらないことが大切だ。

我々が日々支援を実践する時に、他の専門家や保護者から批判や疑問を受けることは少なくないと思う。その時こそ自分たちの実践の基盤を考える好機である。今行っている支援を何故行うかということをきちんと理由を付けて説明できないと TEACCH に学んだ価値が無いように思う。TEACCH の優れた点の一つは実践の一つ一つに科学的根拠と実践の蓄積があることで、単なる経験主義でも理論一辺倒でもない。なぜそうするのかと聞かれた時に、あるいは聞かれなくても“because”を言語化して語れることが必要だ。「TEACCH ではこうやっています」とか「〇〇先生がこう言ったから」と答えるのは TEACCH 的でない。そういった教条主義と TEACCH は無縁だと思う。合理的に理論的に考えること。批判や疑問に対しては自分の実践を振り返る良い機会だ。誠実にかつ合理的に説明するようにトライしてみよう。

結果だけが大切でない。思考過程を丁寧に明晰な言葉で語ること、それも実践家として必要な能力の一つだと思う。

## コラボレーションセミナー2008 を終えて

村松陽子(講師招聘事業担当理事)

1月24日、抄録の翻訳原稿の提出もなんとか間に合い、次は関西国際空港にドカティ先生をお迎えに・・・と思っていたところに、思いがけないメールが飛び込んできました。ドカティ先生が乗るはずだった飛行機が濃霧のためグリーンヴィルを飛び立てず、出発を1日遅らせたというのです。しかも天候のことだから、明日も絶対大丈夫とは言い切れないと・・・それからというもの、ずっと何も手に付かない状態で、翌日は飛行機が飛んでくれるようひたすら祈り続けました。しかし、インターネットで天気予報を調べてみると、相変わらず現地では「濃霧注意報」「視界0km」のサインが出ています。どきどきしたまま、天気予報の画面をチェックし続けていましたが、現地の早朝、ドカティ先生からメールをいただき、飛行機は時間通りに出発予定されているとのこと。ちょっと安心しながらもまだ心配で、今度は飛行機の出発状況を5分ごとにチェックしながら待っていました。

そして、ついに画面に”departed(離陸)”の文字が表示されて「やった!」と喜び、関西国際空港に向かいました。空港の到着ゲートでノースウェスト69便の到着を確認し、ドカティ先生が出てこられるのを待ったのですが、10分が過ぎ、20分が過ぎ、・・・1時間近くにもなってもまだ先生の姿はなく、一体どうなったのだろうとまたまた不安でいっぱいになったとき、ようやく先生の姿。感激の瞬間です!しかし、ドカティ先生の様子がなんだか変。そう、スーツケースが見当たらないのです。事情を聞くと、荷物が届かず、そのために出てくるのが遅くなったということです。後からホテルに届けてくれるそうなのですが、いつ届くかはまだわからないとのことでした。ドカティ先生から、着ている革のジャケットとジーンズをさして、着替えは全部スーツケースに入っているから、着る服はこれしかないが大丈夫だろうかと質問されましたが、先生さえ来てくださればあとのことは構いません。もちろんOKと答えました。かくして、2日間のセミナーは素敵なカウボーイスタイルで行われることになったのです。

2日間のセミナーは、期待以上に素晴らしいものでした。1日目の講義では、TEACCH部の学校コンサルテーションをとおして、いかにしていろんな人と連携・協力して仕事を進めていくのかということ、豊かな実践の経験を基にお話いただきました。TEACCHの真髄となる理念を現場の実践においていかに具現化するのか、共感しながら、感動しながら聞くことができました。2日目の実践報告はまさにTEACCH研とTEACCH部のコラボレーションとなりました。日本各地での会員からの報告にドカティ先生のコメント、会場からの意見や質問、時間が過ぎるのがあっという間でした。

今回初めて企画されたこのセミナーは、TEACCH部と日本のTEACCH研が協力して作り上げたいという思いから「コラボレーションセミナー」と名づけられたのですが、本当に多くの方のコラボレーションによって実現し、コラボレーションの大切さ、素晴らしさを教えてくれました。協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました!また、2年後に2回目のコラボレーションセミナーを開催したいと思います。会員の皆さんの力を合わせてより良いものにしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

## TEACCH コラボレーションセミナーに参加して

京都支部

山本洋子(京都市立西総合支援学校)

今、一番気になる特別支援教育について、TEACCH部からジョン・ドカティ先生が日本に来られ、お話をして頂けるという素晴らしい研修会が催されると言うことを知り、エキサイティングな気持ちでこの日を待っていました。ステージの上のドカティ先生は飛行機のトラブルがあり、ワーキングシャツにGパンとラフなスタイルでした。その理由を司会の村松先生からお聞きした時はびっくりしましたが、ドカティ先生は、「アメリカからやって来たカウボーイです。」と、明るく冗談をおっしゃるので、世界的にお仕事をされているすごい先生なのに、とても穏やかな人間性を肌で感じることができました。

ドカティ先生のお話は、コンサルテーションの基本から、豊かな経験談までわかりやすくお話され、私は一字一句聞き逃すまいと聞き入っていました。2 日目は特別支援学校の発表があり、特別支援教育に TEACCH を取り入れている都道府県は頑張ってるなあと思いました。京都府の再構造化の発表もすばらしかったです。澤先生の声は若いしパワフルだし年齢不詳ですね。下から取れないように工夫された串刺しのスケジュール、すごい発想！確かに 3 色団子は下から食べられませんよね！！ドカティ先生から直々に、TEACCH 部での取り組みの話や、又、日本全国で頑張っている仲間のお話を聞き「私の背中には TEACCH 部がついている、これからも TEACCH の勉強を継続し、自分の職場でも自信を持って発言しよう」と思いました。

夜の懇親会も佐々木先生を始め各役員の先生方、お医者さんやお母さん、その他現場の職員・先生など全国の方が集まり、ドカティ先生を囲んで談笑され、熱気に包まれていました。今回は、すばらしいコラボレーションセミナーを実施して頂いてありがとうございました。

## TEACCHコラボレーションセミナー2008に参加して

福岡支部 大城 悦子

「京都！」ということで研修そっこのけで「観光～♪」とうきうきする気持ちを少～し抑えつつ、コラボレーションセミナーに参加してきました。雪の降る京都でセミナー会場内は、外の寒さとは違って熱気にあふれかえていました。

1日目のジョン・ドガティ氏による「TEACCHにおける学校教育へのアプローチについて」では、教師とどのように協力関係を築いていき、子どもにとって効果的なチーム支援を行うためのコンサルテーションのあり方についての講義がありました。とてもわかりやすく、基礎的な内容かつ先端の内容で、現在行っている自分の取り組みについて振り返る良い機会となりました。

2 日目の実践報告とディスカッションでは、TEACCHの理念を積極的に取り入れ、実践を行っている学校の報告を聞くことができました。校内外の支援で同じような悩みを抱えつつも、自閉症の方本人だけでなく、家族や周囲の人たちも含めてみんながお互いに心地よく過ごせるよう支援を行っている報告やそれについてドカティ氏の的確なコメントを聞くことができ、自分が「今行っている支援」について考えさせられ「次にすべき支援」についての貴重な情報を得ることができとても有意義な内容ばかりでした。

学べば学ぶほど、実践をすればするほど、自閉症支援の難しさまた専門性の高さを求められることを実感しつつ、彼らのユニークな個性を愛し彼らの可能性を信じて支援し続けている全国のTEACCH研の仲間から心地よいパワーを沢山もらい、また、新たな気持ちで学び実践を続けていこうと思いました。ありがとうございました。

## コンサルテーションの極意

北海道支部 榎原 永都子

現在、特別支援学級の担任をしていますが、コーディネーターとして校内、他校のコンサルテーションを行うこともあるため、この2日間はうなずきっぱなし、聞きもらしたくない言葉のオンパレードでした。

ドカティ氏の言葉で印象深かったものを列挙してみます。「コンサルテーションでは、非難のサイクルから抜け出すこと、非難しないことが大切」「文脈にしばられた学習者であるASDの人に対して、教師がその中に長く居続けないことが大切」「高機能の方の場合、整理統合、組織化の困難さと社会性への支援の

二つが重要なこと」そして、「高機能の方のサポートは学校全体を味方につけないとうまくいかないの、管理職や他の職員のサポートが必要」「子どもの代弁者として、カリキュラムに手を加えることの大切さを管理職にうたえていく」などなど具体的なアドバイスも多く、極意を伝授された気になりました。ドカティ氏が「私にとって最高の師」と呼ぶ故ショプラー博士のお若いころのビデオやエピソードもあり、TEACC H部が自閉症の方々と歩んできた歴史を日本でわたしたちもともに歩ませていただいていることを感じることもできました。コラボレーションセミナー二日目のそれぞれの発表でも、最終ゴールは「自立」など、同じゴールをめざしてがんばっている日本の支援者のたのもしい勇姿が続きました。

実は、京都は10月に行われたピアサポート学会で訪れたばかりでした。その時、タクシーの運転手さんが「京都は秋ではなく、1月から2月の寒い時期がおすすめ」と言われていました。たしかに、北海道人でさえ、寒さを感じる底冷えの京都でしたが、会場やホテルなど地下鉄の駅から最寄りの場所ばかりで、準備をしてくださった京都・滋賀支部の皆様のあたたかいご配慮を感じるセミナーでもありました。隔年で計画されているという2回目のコラボを楽しみにしています。

# 平成20年度総会報告



日時：平成 20 年1月26日(土)16:45より財団法人京都染織会館にて平成 20 年度の総会を行いました。総会では新理事と役員承認および以下の5点について会員の皆様の承認をいただきました。

## \*平成 20 年度理事及び役割(☆…新理事)

支部	H19 役割	理事氏名
常任	会長、講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長、講師招聘事業	村松 陽子
常任		新澤 伸子
常任	研修(トレセミ)	諏訪 利明☆
常任	副会長・HP	宇山 秀一☆
北海道		榎原 永都子☆
東京		岡田 祐輔
神奈川		辻 裕二☆
石川		谷中 美雪
愛知		中村 眞喜子
滋賀	研修(実践大会)	井上 悦子
京都	講師招聘事業	野畑 光代
大阪	研修(実践大会)	浅井 郁子
兵庫		大西 俊介☆
鳥取	事務局	竹内 美智子
香川		草原 比呂志☆
福岡		内田 博昭
佐賀		進藤 久見子☆
熊本	広報	丸目 三奈子

\* 役割の広報担当はもう一人を香川支部 丸岡玲子氏にお願いしました。

\* 20 年度会計監査担当は引き続き小田浩三氏(熊本支部)と岡美智子氏(京都支部)にお願いすることになりました。

**平成 19 年度活動報告**

- 2月 17 日(土) 平成 19 年度 第 1 回総務委員会、理事会(佐賀)
- 2月 17 日(土)~18 日(日) 第 8 回実践研究大会(佐賀)
- 2月 18 日(日) 平成 19 年度 総会(佐賀)
- 4 月 機関誌『ぷらう』36 号発行
- 7 月 28 日(土) 平成 19 年度 第 2 回理事会(京都)
- 10 月 機関誌『ぷらう』37 号発行

**平成 19 年度会計報告**

参照:平成 19 年度会計報告、特別会計積み立て金会計報告

**平成 19 年度活動計画**

- 1月 6 日(日) 平成 20 年度 第1回総務委員会(京都)
  - 1月 25 日(日) 第1回理事会(京都)
  - 1月 26 日(土) 27 日(日) コラボレーションセミナー(京都)
  - 1月 26 日(土) 平成 20 年度総会(京都)
  - 4 月 機関誌『ぷらう』38 号発行
  - 7 月 12 日(土) 平成 20 年度 第2回理事会(京都)
  - 10 月 機関紙『ぷらう』39 号発行
- \* 上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する予定。

**平成 20 年度予算議案**

参照:平成 20 年度予算議案

**TEACCH プログラム研究会本部の慶弔規定の作成**

参照:TEACCH プログラム研究会 慶弔規定

平成 19 年度 TEACCH プログラム研究会 特別会計積み立て金 会計報告  
\* 会計年度 平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日

< 収入 >

前年度繰越金	¥3,110,153
TEACCH 部への寄付(各支部より)	¥220,302
利息	¥3,713
合計	¥3,334,168

< 支出 >

TEACCH 部へ寄付	¥280,000
手数料	¥1,680
合計	¥281,680

< 収支 >  
収入 ¥3,334,168 - 支出 ¥281,680 = ¥3,052,488  
残金 ¥3,052,488 は、次年度に繰り越します。  
以上の通り、相違ありません。

平成 20 年 1 月 9 日 TEACCH プログラム研究会 会計担当 南前 素子 (印)  
平成 20 年 1 月 8 日 TEACCH プログラム研究会 会計監査 小田 浩三 (印)

会計監査 岡 美智子 (印)

平成 19 年度 TEACCH プログラム研究会 会計報告  
\* 会計年度 平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日

< 収入 >

前年度繰越金	¥2,083,612
会費 * 資料 1	¥2,082,000
支部より返金	¥50,000
第 8 回実践大会残金	¥169,086
利息	¥2,959
合計	¥4,387,657

< 支出 >

名簿及び会費管理費 (¥400 × 2,350 名 + ¥200 × 380 名)	¥1,016,000
通信費	¥1,670
事務局引継ぎ交通費	¥19,040
事務局引継ぎ会費	¥2,260
理事会交通費(2回分)	¥924,760
理事会会議費(2回分)	¥29,252
ホームページ管理費	¥5,575
平成 18 年度会費返金	¥84,840
平成 18 年度会費返金通信費	¥1,610
第 7 回実践大会制作費	¥277,200
手数料	¥3,560
雑費(事務局用品購入など)	¥848
合計	¥2,366,615

< 収支 >  
収入 ¥4,387,657 - 支出 ¥2,366,615 = ¥2,021,042  
残金 ¥2,021,042 は、次年度に繰り越します。  
以上の通り、相違ありません。

平成 20 年 1 月 9 日 TEACCH プログラム研究会 会計担当 南前 素子 (印)  
平成 20 年 1 月 8 日 TEACCH プログラム研究会 会計監査 小田 浩三 (印)

会計監査 岡 美智子 (印)



# 平成20年度 第1回理事会報告書

平成20年度第1回理事会は、1月25日(金)19:00~21:00にハートピア京都にて行われました。  
参加理事:内山、村松、新澤、諏訪、宇山、榎原、岡田、谷中、中村、井上、野畑、浅井、大西、草原、内田、進藤、丸目、竹内、南前(事務局) 欠席理事:辻

この理事会の決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

**議案1. 平成20年度理事及び役割の確認**

**議案2. 平成19年度活動報告**

**議案3. 平成19年度会計報告、特別会計報告**

**議案4. 平成20年度活動計画案**

**議案5. 平成20年度予算案**

議案3について以下の話し合いがなされた。

・会費収入について

19年6月からの入会金1,000円の徴収や事務所委託の方法をまだうまく理解されず、会員自ら2年分収めたり、会費値上げ時期を勘違いして納入したりしているため、会員数に対して会費金額が合わなくなっていることを事務局より説明し了解された。

・繰越金と特別会計の計上について

今までも会計報告では繰越金が毎年多く計上されており、そのお金は積み立てて会員のために還元しようという決まり、16年度から積立金を支出に計上し特別会計に積み立てている。そのお金でDVD作成の費用やコラボセミナー会場契約費の貸し出し、寄付金などが賄われてきた。しかし16,17年度は積立金を計上したが18,19年度は土倉事務所への業務委託を開始したこともあって、総支出が予想できないため19年度の予算に積立金は計上していない。そのため19年度の会計報告にも特別会計積み立金は入っていない。これからはその年度の残高をみて、その年度内に特別会計積み立金を積み立てていくという方向で確認した。また今後も講師招聘事業を続けていく上で、様々な突発的事項も予想され、それに対応するためには会費のみが資金源でありバックに何ももたない我々の会では運営上、繰越金は100~200万は必要であると内山会長より説明もなされた。

★その後、議案1~5については了承された。

くわしくは総会報告の資料を参照。

**議案6: TEACCHプログラム研究会本部の慶弔規定について**

慶弔規定の資料については総会報告の資料を参照。

・提案された慶弔規定は理事会で了承された。

**議案7: 各支部の会計報告の提出にともない会則の改正は必要か?**

会則の活動報告という言葉を広義の意味でとらえ、会計報告を含んだものを活動報告書としてとらえるという了承を得た。

**議案8: 石川トレセミについて**

**トレーニングセミナー決定事項**

1. 会 期: 平成20年8月22日~24日の3日間
2. 場 所: アリス国際学園(石川県金沢市)
3. トレーナーおよび講師: 諏訪先生(コーディネーター兼) 野畑先生 新澤先生 緒方先生
4. セミナー受講料: 5万円
5. 定 員: 20名(4グループ構成)

以上 5 点の決定事項とトレーニングセミナー予算案が了承された。

#### 議題9:ぶらう第38号について

ぶらう 38 号(2007 年春号)に掲載する内容について決めた。

#### 議案 10:実践大会録作成と支部の買取り部数

1. 実践大会の大会録作成は、佐賀の実践大会までとする。今後は TEACCH 研の HP に大会録に準じたものを作って載せることとする。
2. まずコラボレーションセミナーのときから、HP に載せるよう作成する。  
大会録のコーナーは業者に頼んで仕上げてもらおうが、その大会の写真や、記事の構成案は開催支部が受け持つことにする。

#### 議案 11:平成 21 年度の実践大会開催地について

平成 21 年度の実践大会開催地は熊本に決まった。

開催期日は平成 21 年 2 月 14, 15 日。テーマや日程については次の理事会までに話合う。

#### 議案 12:各支部 19 年度活動報告および会計報告

各支部より提出されたものをまとめて会長まで提出された。

それぞれの支部活動の様子は今後の支部活動の参考になるため、全支部を一括した資料は、各支部にも渡された。

#### 議案 13:その他

- ①土倉事務所とのやりとりについて(理事会資料参照)
- ②土倉からの連絡を一本化して伝える窓口が必要なため、各支部事務局の連絡先を本部事務局に伝えることが了承された。
- ③HP から土倉事務所の振込み先を見た新規入会者は必ず希望支部名をいれて振込みをしてもらうよう、HP の振込み案内のところへ 1 文が足された。
- ④スペース96のアフィリエイトについて(内山会長より)  
実施することを了解された。

##### \*アフィリエイトについて

TEACCH 研会員だけがログインできるページに「会員割引による書籍販売」というバナーをはり、そこからスペース96の書籍販売のページにリンクしていけるようになる。

リンク先のサイトには、TEACCH に関連する書籍を中心とした書籍を掲載してある。そこに掲載されている書籍については、会員は消費税サービスの価格で購入できる。

掲載されている書籍以外の書籍を購入の場合は、定価での購入となる。また、送料は購入金額が 5000 円以上の場合には無料、5000 円未満の場合には地域・冊数・金額によらず一律 350 円となる。なおこの場合の「購入金額」とは、定価(消費税込)の合計金額ではなく、消費税を除いた、実際の買い上げ金額の合計金額のことをさしている。

現在準備中で本格的にスタートされる期日は、TEACCH 研の HP 上で案内がある予定。

- ⑤次回平成 20 年度 第 2 回理事会は

7 月 12 日(土) ハートピア京都にて午後 1:00 より開催することとなった。





# TEACCH プログラム研究会 慶弔規定

(目的)

第1条 この規定は、TEACCH プログラム研究会の慶弔について定める。

(適用範囲)

第2条 この規定の適用範囲は、次のとおりとする。

1. TEACCH プログラム研究会顧問、歴代会長、理事
2. その他、会長が必要と認めたもの

(慶弔の種類)

第3条 慶弔の種類および額は、次のとおりとする。

1. 第2条に該当する者が社会的栄誉を受けたとき、慶祝金を支出することができる。  
金額については、総務委員会で決定する。  
また、会長が必要と認めるときは祝電を送る。
2. 第2条に該当する者が死亡したとき、1万円の弔慰金を支出することができる。  
また、会長が必要と認めるときは、花輪(生花)、弔電を送る。

(改廃)

第4条 この規定の改廃は、理事会にて定める。

付則:

この規定は、平成20年 1月1日より施行する。



## TEACCH研 HP

TEACCH 研のホームページ開設以来、かなり多くの方が HP を訪れてくれ、大変うれしく思います。  
今年度は「TEACCH コラボレーションセミナー」の報告や、石川で行なわれる「トレーニングセミナー」の様子をアップしてゆきたいと考えています。秋には来年 2 月に行なわれる、「実践研究大会 IN 熊本」についてご案内したいと思います。

ホームページアドレス                      [www.teacchken.com](http://www.teacchken.com)  
会員専用ページパスワード              cowboy(小文字でシー・オー・ダブリュー・ビー・オー・ワイ)

このパスワードは2008年5月1日より有効になります

会員パスワードは「ぶらう」発行ごとに変更してゆきます



# 第15回 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー

## 日程と募集

TEACCHプログラム研究会では、1989年以降トレーニングセミナーを各地で開催してまいりました。2008年度、第15回目のセミナーは金沢で開催されます。本セミナーは、自閉症の人たちへの治療、教育、福祉に携わっている方を対象に、自閉症への理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的としています。過去に多くの方が受講し知識と技術を身につけ各地でご活躍されています。さらなる理解・技術向上のために奮ってご参加ください。

トレセミとは……

講義と実践から成っています。トレーナーの方から自閉症の特性や支援についての講義をしていただきます。そして、実際に自閉症の方(協力者)をお呼びし、講義などから得た知識を活かして自立課題やコミュニケーションツールなどを計画・作成、実践、再検討していきます。

1. 日時 2008年8月22日(金)～24日(日)3日間
2. 場所 アリス国際学園 <http://www.alice.ac.jp/index.htm>  
〒921-8176 石川県金沢市円光寺本町 8-50 JR金沢駅より車で約 20 分
3. トレーナーおよび講師  
諏訪利明さん (海老名市立わかば学園)  
野畑光代さん (京都府立向日が丘養護学校)  
緒方よしみさん(福岡市発達障がい者支援センターゆうゆうセンター)  
新澤伸子さん (大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか)
4. 申込資格
  - 自閉症児・者の治療、教育、福祉に携わる専門職の方に限ります。
  - セミナー3日間全日とおしての受講が可能な方。
  - TEACCHプログラム研究会会員であること。  
\*非会員の方は入会手続き後、お申し込みください。  
入会については最寄りの TEACCH プログラム研究会各支部へお問い合わせください。
5. 受講費 5万円 (昼食費・懇親会費別途。宿泊は各自)
6. 定員 20名(4グループ)  
\*申し込み者が定員を超えた場合は、書類にて選考させていただきます。
7. 申込締め切り 2008年5月10日(土)(当日消印有効)
8. 申込方法 申込書に必要事項を記入し、郵送でお申込ください。  
FAX・メールでの申込はお受けできません。

申込宛先 〒924-0024 石川県白山市北安田町830番地26街区1-5  
2008トレセミ実行委員会事務局 木崎伸子 宛

9. 受講決定通知 6月初旬までに郵送にて通知いたします。  
★問い合わせ先 ご不明な点は、FAX・電話・メールにてお問い合わせください。  
TEL・FAX 076-274-1946(木崎伸子)  
メール [teacch\\_ishikawa@yahoo.co.jp](mailto:teacch_ishikawa@yahoo.co.jp)

# 各支部事業計画

## <北海道支部>

北海道支部では、1月15日(火)支部総会が行われました。今年は、昨年度実施した実習スタイルの研修会をワークショップとして開催します。また、事務局の設置されている函館市を中心とした学習会の開催だけではなく、札幌市での講演会を実施し、TEACCHプログラムの普及啓発と、会員の拡充を考えております。会員・非会員にかかわらず、たくさんの方の参加を期待したいと思います。

勉強会の予定は以下の通りです。

第1回	1月15日(火)	「海外研修報告」
	講師	片山 智博 氏 (北海道発達障害者支援センターあおいそら)
第2回	5月	「(未定)」
第3回	7月 5日(土)・ 6日(日)	「ワークショップ(課題分析)」
	講師	未定(現在調整中)
	会場	未定
	定員	20名
第4回	9月 20日(土)	「講演会」
	講師	高橋 和俊 (ゆうあい会石川診療所)
	会場	未定(札幌市)
	定員	100名
第5回	10月11日(土)	「講演会(タイトル未定)」
	講師	佐藤 暁 氏 (岡山大学教育学部)
	会場	未定
	定員	200名
第6回	11月15日(土)	実践報告 (*基礎講座参加者より)
	発表者	未定
	会場	未定

《問い合わせ先》

TEACCH プログラム研究会 北海道支部 事務局

〒041-0802 北海道函館市石川町 90-7 北海道 発達障害者支援センター あおいそら内(井出)

Tel(0138)46-0851 / Fax(0138)46-0857 / E-mail aoisora@yuai.jp

## <東京支部>

1	2/9(土) 16:30~ 19:30	ミニ勉強会	「TEACCHを知ろう」(DVDを視聴して) 会場 調布市市民センターあくろす
2	3/2(日) 13:00~ 16:30	講演会 講師 藤村出先生 (NPO 法人 SUN 理事長、障害福祉コンサル タント) 定期総会	「自閉症の支援-TEACCHの考え方と技術-」 会場 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

3	5/10(土) 午後	定例勉強会(基礎講座④) 講師 東京支部役員 (福岡優子氏、堀内太郎氏)	「評価」 会場 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室
4	6/7(土) 午後	定例勉強会(基礎講座⑤) 講師 東京支部役員 (石川恵氏、石原まゆみ氏)	「コミュニケーション」 会場 未定
5	7/5(土) 午後	実践報告・事例検討会 新井豊吉氏 コメンテーター 内山登紀夫先生(よこはま発達クリニック)	仮題「養護学校高等部の事例」 会場 未定
6	9/27(日) 午前・午後	定例勉強会(基礎講座⑥) 講師 黒田美保先生(よこはま発達クリニック)	「自立課題」ワークショップ形式 会場 未定
7	10/18(土) 未定	講演会 講師 梅永雄二先生(宇都宮大学)	「自閉症者の就労・福祉」 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
8	11月(日) 日程未定 夕方・夜間	ミニ勉強会	「TEACCHを知ろう」(DVDを視聴して) 会場 未定
9	12月(日) 日程未定	実践報告・事例検討会2 天沼澄子氏 コメンテーター (未定)	仮題「学校選択と進路について アスペルガーの事例から」 会場 未定

### ＜ 神奈川支部 ＞

期日	内容	日時・会場
1月26日(土) 27日(日)	TEACCH コラボレーションセミナー2008	京都染色会館 シルクホール
2月9日(土)	【講演会】「ライフステージにそった自閉症の支援」 講師 服巻 智子	厚木市ヤングコミュニ ティセンター 5階大会議室
3月12日(水)	【合同】神奈川支部総会 「地域におけるニーズに応える支援の展開」 発表者 辻 裕二・深水 綾	* ふきのとう向生舎 3階
4月16日(水)	【基礎】「自閉症の特性」 講師 諏訪 利明 【応用】「成人の生活支援」	*
5月14日(水)	【合同】「評価について」 講師 諏訪 利明	*
6月18日(水)	【基礎】「構造化について」 講師 諏訪 利明 【応用】「家庭での実践」	*
7月16日(水)	【合同】「コミュニケーションについて」 講師 諏訪 利明	*

9月17日(水)	【基礎】「自立課題について」 講師 深水 綾 【応用】「幼児期の支援」	*
10月15日(水)	【基礎】「課題分析について」 講師 辻 裕二 【応用】「成人期の支援」	*
11月12日(水)	【基礎】「行動マネジメント」 講師 五味 純子 【応用】「学校での実践」	*
12月7日(日)	【講演会】テーマ未定 講師 中山 清司	会場未定

\*はすべて 18:30 ふきのとう向生舎3階

日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

車で来所された場合は駐車場所に気をつけてください。また会場には十分なスリッパがありませんので、各自ご持参ください。

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局  
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山  
【Tel】080-3250-2115 【FAX】046-269-0067  
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

## < 石川支部 >

- ・1月12日(日)13:15～16:30 第6回 総会及び講演会 ニキ・リンコさん(翻訳家)  
場所 石川県地場産業振興センター本館1階ホール
- ・2月17日(日) 9:30～12:30 第38回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫  
・講師 三邊義雄先生(金沢大学大学院脳情報病態学精神医学)  
「最近の自閉症研究:連合大学院をめざす金沢大学・浜松医科大学・大阪大学における生物学的研究を中心として」  
・高機能自閉症児 A 君の保護者からの報告
- ・3月9日(日)9:30～12:30 第39回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫  
・実践報告「特別支援教育から学んでいること」ポーターズ協会小坂正栄さん  
・事例検討会 養護学校中学部2年のお子さん
- ・4月 トレーニングセミナー実行委員会
- ・5月11日(日)9:30～12:30 第40回例会 場所 金沢市教育プラザ富樫  
・支援ツールについての講義 武蔵博文先生(香川大学)  
・事例検討会 小学校特別支援学級6年生のお子さん(予定)
- ・6月・7月 トレーニングセミナー実行委員会
- ・8月22日(金)～24日(日) 3days トレーニングセミナー  
場所 アリス国際学園(金沢市)
- ・9月 トレーニングセミナー反省会
- ・10月以降(未定) PECS 講演会 場所未定 講師 服巻繁さん(ピラミッド・ジャパン代表)
- ・11月 第41回例会 就労支援のお話し
- ・12月 第42回例会 支援ツール報告会

## ＜愛知支部＞

月	日	時間	事業・内容・講師	共催、後援など	会報の発行
1月					
2月					
3月	1 日 (土)	17:00~ 20:00	総会 会員報告会「ノースカロライナ訪問」		
	28 日 (金)	19:00~	会員交流会(立食パーティー) ミニトレ実行委員会立ち上げ		
4月					ぶらう発送
5月	24 日 (土)	10:00~ 16:00	坂井聡先生講演会 テーマ「コミュニケーションについて」	共催 あいち発達障害者支援センター 名古屋市発達障害者支援センター 後援 愛知県自閉症協会 朝日新聞厚生文化事業団(予定)	ミニトレ情報発行(募集)
6月					
7月					7月 会報発行
8月	(未 定)		梅永雄二先生講演会 「就労支援について」(仮題)	共催 あいち発達障害者支援センター 名古屋市発達障害者支援センター 後援 愛知県自閉症協会 朝日新聞厚生文化事業団(予定)	ミニトレ 情報発行
9月					
10月	(未 定) 2 日間		ミニトレーニングセミナー トレーナー 諏訪先生 野畑先生	後援 愛知県自閉症協会	ぶらう発送
11月	16 日 (日)		事例検討会(岡田真子先生)	後援 愛知県自閉症協会 共催 あいち発達障害者支援センター(予定) 名古屋市発達障害者支援センター(予定)	
12月					会報発行



## ＜滋賀支部＞

時間：午後 7 時～9 時      場所：野洲中央公民館

	日程	テーマ	担当
1	4月16日(水)	自閉症の特性理解 講義	磯山
2	5月21日(水)	受容性コミュニケーション 講義	井上
3	6月18日(水)	受容性コミュニケーション 実践報告とディスカッション	藤井
4	7月16日(水)	表出性コミュニケーション 講義	田代
5	9月17日(水)	表出性コミュニケーション サンプル、ディスカッション	大岡
6	10月15日(水)	実践報告1	浅田
7	11月19日(水)	実践報告2	峯

## ＜京都支部＞

月日	時間	会場	テーマ、講師など	備考
2月9日(土)	13:30～16:15	京都アスニー	『「こだわり」へのアプローチ』 京都市児童福祉センター 村松陽子氏 実践報告 南山城学園 翼スタッフ 平成 20 年度支部総会	
	16:20～16:50			
3月15日(土)	13:30～16:30	京都社会福祉会館 2F 自閉症協会京都府支部 事務所	「家庭における保護者の取り組み」 南山城養護学校小学部保護者 務中純子氏	
4月19日(土)	13:30～16:30	京都社会福祉会館 2F 自閉症協会京都府支部 事務所	「歯科医療現場での実践」 花の木医療福祉センター 高原 牧氏	
5月18日(日)	13:30～16:45	こどもみらい館	超入門講座 第一回 「お互いにわかり合うために」 ～ 自閉症の理解と TEACCH プログラム～ 京都市児童福祉センター 村松陽子氏、他	「NPO 法人生活支援センターあすく」と共催
7月6日(日)	13:30～16:45	ハートピア京都	超入門講座 第二回 「世界をわかりやすく」 ～ 構造化 総論及び各論～ 向日が丘養護学校 野畑光代氏、他	「NPO 法人生活支援センターあすく」と共催

滋賀支部との合同企画を検討中				
9月14日(日)	13:30~16:45	ハートピア京都	超入門講座 第三回 「一人ひとりに合わせるために」 ～支援のためのアセスメント～ 京都市児童福祉センター 村松陽子氏、他	「NPO 法人生活支援センターあすく」と共催
9月20日(土)	13:30~16:30	京都社会福祉会館 2F 自閉症協会京都府支部 事務所	「AAPEP から見えること」 向日が丘養護学校 澤 月子氏	
10月18日(土)	13:30~16:30	京都社会福祉会館 2F 自閉症協会京都府支部 事務所	「生活支援」 報告者 未定	
11月1日(土)	13:30~16:30	京都社会福祉会館 2F 自閉症協会京都府支部 事務所	「小学校における発達障害児への実践」 精華町立山田荘小学校 倉谷洋子氏	
11月16日(日)	13:30~16:45	ハートピア京都	超入門講座 第四回 「伝え合うために」 ～コミュニケーション支援～ 京都市児童福祉センター 村松陽子氏、他	「NPO 法人生活支援センターあすく」と共催

### ＜大阪支部＞

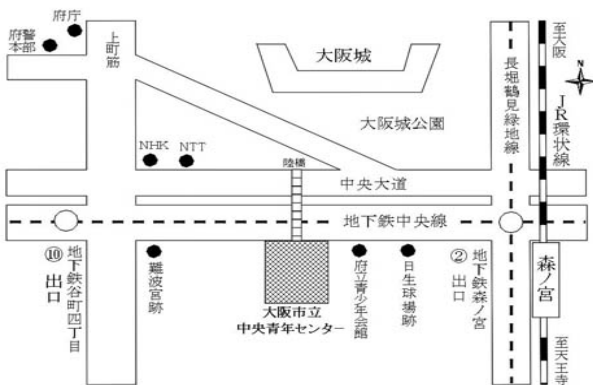
月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	会場 内容	会報の発行	総会、世話人会など
3月					「いまーじゅ」 発行予定	
5月	17日 (土)	14:00~ 16:30	講演「自閉症の理解」 講師 岡田 眞子氏 (大阪市立総合医療センター 小児神経内科 非常勤臨床心理士)	特別講座 会場 第2ホール		例会後総会 運営委員会
6月	14日 (土)	14:00~ 16:30	勉強会「評価について」 講師 小林 一恵氏 (大阪府立精神医療センター 松心園臨床心理士) 浅井 郁子氏 (堺市立御池台小学校 教諭)	会場 1号 研修室		運営委員会
7月	12日 (土)	14:00~ 16:30	実践報告会「連携について」 報告者 菊地 千春氏(保護者) 藤原 孝行氏 (障友会 わららか草部支援員)	会場 1号 研修室		



8月			休会 (今年度はトレーニングセミナーを計画していません)			
9月	13日 (土)	14:00～ 16:30	勉強会「構造化について」 講師 谷 真由美氏 (堺市立御池台小学校 教諭)	会場 1号 研修室		
10月	11日 (土)	14:00～ 16:30	勉強会「就労支援」 講師 田端 たまみ氏 (ジョブサイトよど 主任)	会場 1号 研修室	「いまーじゅ」 発行予定	運営委員会
11月	8日 (土)	14:00～ 16:30	実践報告会「実践報告～療育・ 学齢期～」 報告者 佐竹 順子氏 (大阪府立精神医療センター 松心園 心理士) 武藤 薫氏 (泉大津市立旭小学校 教諭)	会場 1号 研修室		運営委員会
12月	7日 (日)	14:00～ 17:00	講演「神経科学と認知研究から みた広汎性発達障害」 講師 十一 元三氏 (京都大学医学部 保健学科教授)	公開講座 会場 未定		

定例会(今年度から 会場が変わります) 月例参加費 大阪支部会員 500円 支部以外の会員 1000円 非会員 1500円

## ■ 大阪市立中央青年センター



### 所在地

大阪市中央区法円坂1-1-35

### アクセス

- ・JR 森ノ宮駅:西へ600m 徒歩10分
- ・地下鉄 森ノ宮駅(2番出口):  
西へ500m 徒歩8分
- ・地下鉄谷町四丁目駅(10番出口):  
東へ500m 徒歩8分

《TEACCHプログラム研究会大阪支部事務局》変更になりました！

大阪市発達障害者支援センター エルムおおさか

〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55

大阪市立心身障害者リハビリテーションセンター2F

FAX:06-6797-6934

E-mail:[hattatsu-shien@feel.ocn.ne.jp](mailto:hattatsu-shien@feel.ocn.ne.jp)

(問い合わせはFax、Eメールにてお願いします)

## ＜兵庫支部＞

月	会員向け活動内容	会場
5	実践発表・事例研究 大西 俊介	山南公民館 丹波市山南町谷川 1110
8	兵庫県下におけるネットワーク支援の実際(仮題)1 障害者等相談支援コーディネーター(兵庫県北播磨県域) 益田 毅	"
11	実践発表・事例研究 大西 俊介	"
3	兵庫県下におけるネットワーク支援の実際(仮題) 障害者等相談支援コーディネーター(兵庫県北播磨県域) 益田 毅	"
一般向け啓発活動・セミナー		
10	「自閉症理解のために」 (内容・詳細検討中)	明石市民会館 明石市中崎1丁目 3-1 (予定)
<p>昨年度まで、TEACCH研兵庫支部役員及び会員が兵庫県丹波地方を中心に行っていた「TAS—T(丹波自閉症研究会教職員部会)」主催の教職員向け会員制研修会をTEACCH研兵庫県支部として引き継ぎました。このことから、旧TAS-T会員の内、TEACCH研兵庫支部に未入会の会員が順次TEACCH研兵庫県支部に新規入会されることになると予想されます。</p> <p>順次、同様の研修会、セミナー等を、TEACCH研兵庫県支部に運営主体を移行していく予定です。</p>		

## ＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事業・内容	会報の発行	総会、世話人会など
1月	16日 24日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 年間の話し合い 境港 年間の話し合い			
2月	28日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 コラボレーションセミナー報告会・輪読と話し合い	24日講演「人間関係を育てる」講師吉野 邦夫氏西多摩療育支援センター施設長(日本自閉症協会兵庫県支部但馬ブロック)		
3月	19日 27日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 秩父学園研修報告 鹿野第2 かちみ園 大西 境港 フリートーク・輪読と話し合い			3 日定期総会

4月	24日	9:00 ~ 20:30	鳥取 境港 事例検討会「学齢期」			
5月	21日 29日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 講義「コミュニケーション」鹿 野第2かちみ園上山 境港 事例検討会「成人期」・輪読 と話し合い	10日基礎講座「自閉症 の診断と特性」前岡幸憲 先生 (自閉症協会主催)		
6月	26日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 未定	7日基礎講座「構造化」 講師未定(自閉症協会 主催)		
7月	16日 24日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	実践発表「支援センター白浜」 羽合ひかり園事例検討会「保護 者」・輪読と話し合い	5日基礎講座「コミュ ニケーション」「問題 行動」講師未定(自閉 症協会主催)		
8月	1日 28日	10:00 ~ 16:30 19:00 ~ 20:30	「PECS講演会」講師 服巻繁氏(支 部主催講演会) 鳥取 境港 PECS報告会			
9月	17日 25日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 実践発表「鹿野かちみ園」・ 鹿野第2かちみ園 境港 福祉サービスについて市福祉 課・輪読と話し合い			
10 月	24日	19:00 ~ 20:30	鳥取 境港 梅永雄二先生講演会報告・輪 読と話し合い			
11 月	19日 27日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 講義「PEP-Ⅲ」 境港 フリートーク・輪読と話し合い			
12 月	24日 25日	19:00 ~ 20:30 19:00 ~ 20:30	鳥取 反省会 境港 反省会・忘年会			

#### 定例会

鳥取 毎月 第3水曜日・場所 鹿野かちみ園 研修室

境港 毎月第4木曜日・場所 陽なた\*前半30~40分は勉強会、後半は輪読と話し合いです。

<輪読の書籍について>「アスペルガー症候群の子育て200のヒント」ブレンダ・ポイド著 東京書籍

### <香川支部>

月 日	学 習 内 容	講 師(敬称略)
2月17日	平成20年度新規会員総会 サポートブック実践セミナー	特定非営利活動法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子
3月16日	気になる行動へのアプローチについて	香川大学大学院 西村 健一
4月20日	特別支援教室すばるでの実践から見えてきたこと	香川大学教育学部特別支援教室すばる 馬場 広充

5月25日	高機能自閉症・アスペルガー症候群の人への支援の実際 (仮)	香川県発達障害者支援センターアルプスかがわ 新井 隆俊
6月15日	考えてみよう！自閉症の人たちの気持ち	あじの里地域生活支援センター 草原 比呂志(香川支部代表理事)
7月20日	自閉症をもつ人への成人支援の実際 ～就労移行支援を中心に～(仮)	ワークプラザ・たんぽぽ 飯間 仙三
9月21日	療育機関での実践報告(仮)	医療法人栄寿会天満病院こどもリハビリテーション言語職掌士 泊 加奈子
10月26日	★公開講演会 自閉症の特性理解と支援 ～TEACCHに学びながら～(会員外も可)	つばさ発達クリニック院長 藤岡 宏 (TEACCH 研 元会長)
11月16日	学校での実践報告(仮)	香川県立香川東部養護学校 玉野 伸江
12月21日	自閉症への医療面からのアプローチ	香川大学教育学部 繪内 利啓
★講師・内容などは変更する場合があります。ご了承ください。		

### ＜佐賀支部＞

期 日	内 容	講 師
1月19日(土)	移行支援について ～トライアングルエフェクトの視点から～	水野敦之
2月16日(土)	【講演会】PECSIについて	服巻 繁
3月29日(土)	【講演会】自閉症の人の自立をめざして	梅永雄二
4月26日(土)	自閉症の特性について ※終了後 支部総会	進藤久見子
5月17日(土)	構造化について①	進藤久見子
6月28日(土)	構造化について②	水野敦之
7月12日(土)	コミュニケーションについて	水野敦之
9月 6日(土)	社会性・余暇スキルについて	服巻 繁
10月18日(土)	移行支援について	森 朱里 大野麻琴
11月15日(土)	IEPについて ※終了後 代表者会	瀬尾裕子
12月27日～28日	佐賀支部トレーニングセミナー	服巻 繁 他

【問い合わせ先】

佐賀支部代表 金立養護学校 進藤久見子  
 TEL・FAX 0952-33-4887  
 E-mail kumikomm1023@yahoo.co.jp

## ＜福岡支部＞

月	活動内容	会場
4	TEACCHコラボレーションセミナー報告 実践報告 アドバイザー：納富恵子氏	西南学院大学
7	実践報告 アドバイザー：井上哲雄氏	西南学院大学
10	実践報告 アドバイザー：服巻繁氏(予定)	西南学院大学
12	総会・記念講演 講師：(未定)	西南学院大学

### ○定例会について

今年度は、定例会を「**自閉症スペクトラム実践研修会**」という名称にします。

今までの講義形式のものを見直し、支援者の支援技術向上を目的とし、支援者を対象に、より実践的で、継続できるような内容にします。

スーパーバイザーを招き、実践報告を通してアドバイスを受れたり、自閉症支援の実際について学んだりすることができるようにします。

時間は、平日の夜の実施も考えています。

開催月、アドバイザー、会場については予定でするので変更になる可能性があります。

### ○ホームページについて

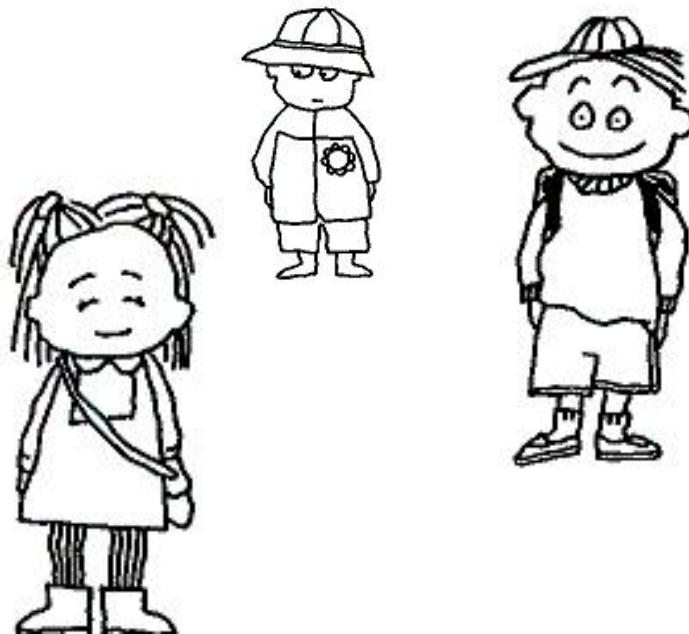
ホームページをより充実したものにするため、研修会の予定に加え、福岡県内の幅広い研修会の情報を収集し、定期的に更新を行います。それに伴い、事務局内外からホームページに詳しい方に作成・更新を依頼し、より情報が豊富に提供できるようにします。

<http://www.f-teacch.or.tv/>

## ＜熊本支部＞

期 日	研修内容・講師		備 考
1月19日 (土)	ミニセミナー 支部総会 勉強会	ミニセミナー学習会(午前中) 総会(午後) 「育ちあいのデザイン：自閉症を持つ幼稚園児とクラスメートの発達特徴を踏まえたかかわり」 佐澤智恵子氏(福祉総合相談所 熊本中央保健福祉課) 寺本久恵氏(信愛女学院幼稚園)	ミニセミナー参加者対象  会費納入 (～1/30)
1/26(土) 27(日)	全国セミナー in 京都	TEACCH コラボレーションセミナー2008	理事会・総会出席
2/29(金) 3/1(土) 2(日)	(前日準備) ミニセミナー	「構造化とコミュニケーション」 諏訪利明氏(海老名市立わかば学園園長) 中山清司氏(京都市発達障害者支援センター)	ミニセミナー参加者対象

4月19日(土)	ミニセミ報告	ミニセミ報告A・Bグループ	*スタッフ会議は各研修会後に必要に応じて実施予定。支部会報も発行予定。
5月17日(土)	基礎講座Ⅰ	「自閉症の特性と支援」 幼児期:岡本美由紀氏(熊本市発達相談室) 青年期以降:講師交渉中	
6月21日(土)	基礎講座Ⅱ	「家庭の構造化」 橋口美代子氏(県こども総合療育センター)	
7月12日(土)	基礎講座Ⅲ	「家族による講座」報告予定者:井出・小田・渡邊氏	
9月20日(土)	講演会	PECS 服巻繁氏(ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン)	
10月18日(土)	実践報告会	家庭(または学校)・成人施設での実践	



# 第15回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー受講申込書

事務 記入欄	No.
	月 日 受理

ふりがな				性別	男 ・ 女
氏名				年 月 日生 ( 才 )	
ふりがな					
住所	〒				
連絡先	電話番号		メールアドレス		
	ファックス		緊急連絡先		
勤務先			職 種 仕事内容	( 年目 )	
所在地	〒			〔連絡発送先〕	
	TEL	FAX		自宅 ・ 勤務先 (一方に○をおつけ下さい)	
トレーニングセミナーの経験はありますか？(ある方はどちらのトレーニングセミナーですか？) あり(参加トレーニングセミナー名: ) なし					
〔自閉症療育にかかわった経験と、トレーニングセミナー参加を志望された動機をご記入下さい。なお、選考の際に、参考にさせていただきます。〕					